

調査の名称	家庭部門の CO <sub>2</sub> 排出実態統計調査
用語の解説	<p>○CO<sub>2</sub> 排出量を推計するための換算係数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熱量換算係数（丸カッコ内は CO<sub>2</sub> 排出係数） <ul style="list-style-type: none"> <li>電気：3.6 MJ/kWh（下記のとおり）</li> <li>都市ガス：各供給事業者の発熱量（13.95 t-C/TJ）</li> <li>LP ガス：50.08 MJ/kg&lt;比容積 0.502 m<sup>3</sup>/kg&gt;（16.37 t-C/TJ）</li> <li>灯油：36.49 MJ/L（18.71 t-C/TJ）</li> <li>ガソリン：33.36 MJ/L（18.71 t-C/TJ）</li> <li>軽油：38.04 MJ/L（18.79 t-C/TJ）</li> </ul> </li> <li>・電力の排出係数&lt;令和 4 年度基礎排出係数[単位：t-CO<sub>2</sub>/kWh]&gt; <ul style="list-style-type: none"> <li>北海道電力 0.000533</li> <li>東北電力 0.000477</li> <li>東京電力エネジーパートナー 0.000457</li> <li>北陸電力 0.000487</li> <li>中部電力ミライズ 0.000433</li> <li>関西電力 0.000360</li> <li>中国電力 0.000537</li> <li>四国電力 0.000370</li> <li>九州電力 0.000407</li> <li>沖縄電力 0.000710</li> </ul> </li> </ul>
利用上の注意	<p>① 数量項目（CO<sub>2</sub> 排出量、エネルギー消費量、機器の使用台数等）では、特に断りのない限り、使用していない世帯を含めて算出している。</p> <p>② 本資料の構成比の内訳を合計しても四捨五入の関係で 100%とならない場合がある。</p> <p>③ 本調査結果における世帯当たりエネルギー種別 CO<sub>2</sub> 排出量、消費量及び支払金額においては、ガソリン、軽油を含まない。</p> <p>④ 本調査では、廃棄物と水道による CO<sub>2</sub> 排出量を調査・推計対象としていない。</p> <p>⑤ 家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査全国試験調査*とは用語の定義が異なる場合がある。</p> <p>* 統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく一般統計調査（平成 26 年 5 月 29 日承認）として、平成 26 年 10 月から平成 27 年 9 月に実施</p>
正誤情報	<a href="https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html">https://www.env.go.jp/earth/ondanka/ghg/kateiCO2tokei.html</a>
統計表一覧	<a href="https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&amp;toukei=00650408&amp;kikan=00650">https://www.e-stat.go.jp/stat-search?page=1&amp;toukei=00650408&amp;kikan=00650</a>
公表予定	令和 6 年 10 月に令和 5 年度調査結果の速報値を環境省 HP にて公表

	令和7年7月末までに令和5年度調査結果の確報値を環境省HPにて公表及びe-Statへ集計表を掲載予定
問合せ先	(部署名) 地球環境局総務課脱炭素社会移行推進室 (電話番号) 03-6627-3429